



# 桑の緑

小坂小学校 学校便り

令和3年6月22日  
文責：校長 江上 知男



気持ちよさそう！（3年）

## 水泳のシーズン到来です！

6月15日（火）に、5・6年生の頑張りできれいになったプール…今週はいよいよプール開き週間です。3年生が21日（月）に「一番乗り！」を果たしました。

今年は梅雨入りは早かったものの、「中休み状態」が長く続いており、すでに真夏の日差しが降り注いでいます。水温も程良く、子どもたちは本当に気持ち良さそうに水に親しんでいました。これから夏休みまでの約1ヶ月間、しっかり水泳の力を高めて欲しいです。

さて、「水泳」の学習は体育という教科の中でも、特別な領域であり、絶対に身に付けさせたい技能だと考えています。理由として、大きく次の2つの理由があげられます。

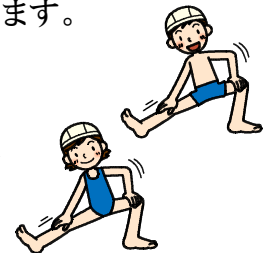
### <命を守る手段になる運動である>



毎年夏になると、川や海で必ず水の事故が起こります。水の事故は本当の「命取り」です。いざという時、自分の命を救ってくれるのは、「身につけている泳力」と「（過信ではない）泳げるという自信」だと思います。水泳は、いざというときに自分の命を守る大切な手段になります。

### <体力に合わせて、一生続けられる運動である>

スポーツにはいろんな種目・楽しみ方がありますが、適度な全身運動で、しかも年齢を重ねても取り組めるスポーツとなると、数は限られます。水泳はその数少ない一つであり、泳ぐことを覚えれば、健康作りや楽しみとして生涯にわたって続けることができる種目なのです。



なお、「安全・安心」な水泳の授業を保障するために、今年度も2人体制で指導を行います。本校の先生方は、子どもたちのレベルに応じて、水泳をじっくり教えてくれます。しっかり取り組んで、泳げるという自信を持つとともに、泳ぐことが好きになって欲しいと思います。

【お願い】 水泳がある日は、「プールカード」をお子さんに持たせていただきますが、子どもたちの命に関わることですので、記入は必ず保護者にさせていただきますようお願いいたします。なお、保護者のサイン等がなければ水泳の授業には参加できませんので、ご了解ください（特別の事情がなければ、学校から確認の電話はしません）。

## 小坂っ子はやさしい！

ある1年生が、不慮の事故で足を骨折してしまいました（痛かったです！）。次の日から松葉杖と車椅子生活になりました。休み時間にしょぼんと座っている本人…。でも、その周りにはお世話をしてくれる1年生がいっぱい！。「きっとがっかりしているだろう」「きっとできないことがあるだろう」と相手の立場に立っているのがよく分かり、とても嬉しくなりました。

すると、今度は6年生のお兄ちゃんが現れました。お兄ちゃん本人を車椅子に乗っけて、トイレに連れて行ってくれました。その様子は少しも無理しているような様子を感じられず、自然なのです。「すごさ」を感じました。

本校の教育目標は「気付き、考え、行動する」なのですが、それを事例で表すと「今回のような話になるのだろうか」と心から思いました。小坂っ子は本当にやさしい子がたくさんいます！



みんなやさしい！